

CO-CREATING PUBLIC FUTURES



人々の幸せや豊かさを実現させる**都市環境**を実現するための**政治や政策**に興味がある人へのおすすめの履修モデルです

【想定されるキャリア】

- ・県庁・市役所にて公務員として政策立案に関与
- ・ジャーナリスト(新聞社、出版社、放送局ウェブメディア等)
- ・都市デザインやコミュニティデザインのコンサルタント
- ・観光関連産業の企画やコンテンツ開発
- ・地方議員として政策に関与

その他、公的な領域の学びからのキャリアの選択肢は多様です

自然環境と人間社会との調和がとれた持続可能な都市を実現させるには、政府や自治体だけでなく、市民や地域社会、企業など多様な主体と「共に未来を創る」という視点が欠かせません。「誰ひとり取り残すことなく、多様性を認め合う寛容な社会」を実現させるためにも、政治や政策が「公的（public）」な存在としてその役割をしっかりと果たす必要があります。地球市民学部では、「これから生まれてくる未来の市民」や「周囲の自然環境や生物多様性」にまで配慮した、次世代の都市環境デザインのあり方を、主に公共政策論の視点からゼロベースで学べる科目が用意されています！

1年次 基礎を固めよう

★地球市民としての思考と表現1・2（各4）

→社会課題の現場で通用する思考力と表現力を地球市民学部独自の教材で学びます

★ソーシャルデザイン概論（2）

★社会課題解決のための情報スキル演習（2）

→社会課題と向き合います

★プロジェクト入門1・2（各1）

→課題解決プロジェクトの基礎を体験します

2年次 専門性を深めよう。関心を広げよう

★専門事例：地球市民と社会、地球市民と政治（各4）

→いよいよ専門科目です。2コマ3時間半の集中的な学びを

★データと社会、データサイエンス（各2）

→データに基づいた政策分析や立案のための基礎を習得

★グローバルスタディーズ8（公共政策）（2）

★地域文化研究1（2）★ワークショップデザイン論（2）

★フィールドワーク

→地球市民学部の専門科目で、知識とスキルの両方を学ぼう

★都市社会学（2）★現代の日本政治（2）

★SDGs概論（2）★人文・自然地理学（2）★地誌（2）

★神話と伝承（2）★民俗学（2）など

→共通教養科目や総合文化学部の科目を自由に選んで、基礎知識の拡充や、教養の幅を広げよう（自由選択科目）

3年次 専門性を高めて、社会に出よう

★専門事例：地球市民と技術、地球市民と環境（各4）

→社会課題の背景や解決のカギを最新の文献を交えて学ぼう

★GCSインターンシップ（2）

→どんどんと現場に出て、より深く・より広く学ぼう

★研究プロジェクト1・2（各2）

→ゼミです。いよいよ卒業研究プロジェクトに着手します
地域の人々と話し、その価値を理解した上で研究とプロジェクトを展開していきましょう

★アートデザイン論★映像表現法★情報スキル

★社会課題解決のためのメディア★映像表現演習（各2）

→プロジェクトに向けメディアやテクノロジーを使えるようになるう

4年次 地球市民学の集大成を

★専門事例：地球市民と文化、地球市民と対話（各4）

→地球市民学部の専門科目を学び尽くしましょう
（自由選択科目として）

★研究プロジェクト3・4（各2）

★卒業論文（2）★卒業プレゼンテーション（2）

→地球市民学部の学びの集大成です
アカデミックな卒業論文と共に、学術的な知見があるからこそ可能な社会課題に対する実践プロジェクトを完成させます
プレゼンテーション技法を活かして、#聴衆を意識した卒業プレゼンテーションにチャレンジします